

施設管理 IoT

最新動向

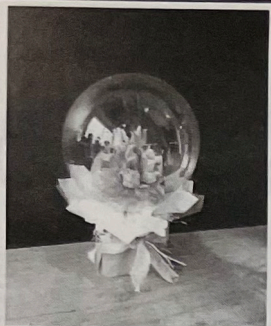
CO2測定器をはじめIoTを駆使した施設管理システムが台頭する。感染対策はビルの付加価値にもつながり、シェアオフィスやビルの共用部等を中心に導入が進む。その中で、独自路線のセンサー連動製品を発表した企業がある。

バルーンショップ「トラッド」もIoT製品を開発

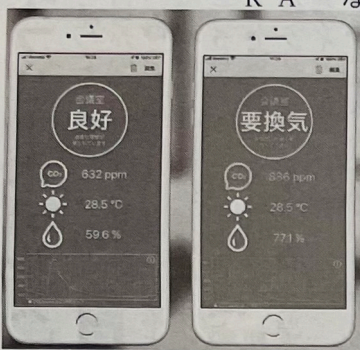
アプリ開発や体温チェックシステム「Smart+Rich Balloon」を開発したトラッドは、各種IoTセンサー機能とアプリ・サーバー連動させたシステムの提供を開始した。また「RICH BALLOON」は、各種IoTセンサー機能とアプリ・サーバー連動させたシステムの提供を開始した。また「RICH BALLOON」は、各種IoTセンサー機能とアプリ・サーバー連動させたシステムの提供を開始した。

「SMART+RICH BALLOON」実証実験開始

「SMART+RICH BALLOON」は、各種IoTセンサー機能とアプリ・サーバー連動させたシステムの提供を開始した。また「RICH BALLOON」は、各種IoTセンサー機能とアプリ・サーバー連動させたシステムの提供を開始した。



▶バルーンの土台にセンサーが内蔵



▶アプリでCO2濃度や室温などを、センサーの検出した数値が確認できる

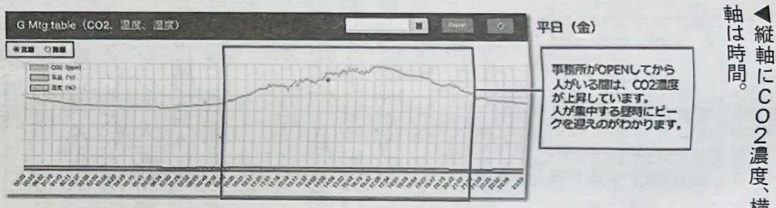
「RICH BALLOON」の企画を、代表取締役の恩地利氏は「3密対策としてCO2濃度の測定器を導入するオフィスビルや各種サービス店舗が増えています。CO2測定器は簡素なディスプレイを使用したものが大半で、画一的なものが多く感じました。センサー自体もとてもシンプルなので、単に置いてCO2濃度を測定するだけでは味気ない」と。華やかで見た目から楽しめる測定器を作ろうと考え、バルーンショップ「トラッド」が開発した「SMART+RICH BALLOON」は、各種IoTセンサー機能とアプリ・サーバー連動させたシステムの提供を開始した。また「RICH BALLOON」は、各種IoTセンサー機能とアプリ・サーバー連動させたシステムの提供を開始した。

感染症対策・空調メンテナンスに



トラッド 代表取締役 恩地利 和利氏

私たちはIoTと連動したアプリ開発を得意としてきました。今回IoTで粉塵の室内混入を監視することができ、また定期的に測定することで、空調のフィルターなどの交換時期を判断することも可能です。



▲縦軸にCO2濃度、横軸は時間。

ニーズからホテルの事業者様にお問い合わせをいただいている状況です。1台のサーバーで少なくともデバイス数百個以上は管理することができ、複数サーバーに設置したセンサーの反応状況も一括で管理できます。ビルやオフィスを複数棟管理しているオーナー様・管理会社様にとっては、遠隔地から施設を管理ができるため、コスト削減や業務効率化を図ることも可能です。(恩地利氏)